

不安 (1954)

LA PAURA

ANGST

NON CREDO PIV' ALL' AMORE

FEAR [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンス

製作国 イタリア／西ドイツ

色彩 B&W

時間 81分

初公開日 1988/12/16

公開情報 大映

【解説】

「忘れじの面影」のS・ツヴァイクの原作を改変した、ロッセリーニとバーグマンのコンビ最終作。夫が長い療養生活を送っていたため、その製薬会社の経営者となり、今は研究一筋の夫を助けていたイレーネは、夫の留守中関係を持ってしまったエンリコと別れられない。良心の呵責に苦しむ彼女の慰めは、田舎に預けてある子供たちと優しい乳母の存在だった。そこへ、エンリコの昔の恋人と名乗る女が現れ、彼女を脅迫した。初め、彼女は応じるが、度重なる要求に、全てを夫に告白し警察に通報すると伝えると、総てをイレーネの夫が仕組んだことを女は白状した。絶望した彼女は深夜の研究室に忍び込み、毒をあおって自殺しようとしたが、突然ビーカーが割れ、我に返って子供たちの待つ郊外へと車を飛ばす。原題は“私は愛を信じない”だが、最初に公開されたのは、終幕で自殺を決意した妻の元に夫が駆けつけ和解する版で、“La Paura”と題された。フィルム・ノワール調の作品で、珠にラスト・シークエンスは表現主義的で異色だった。実験シーンなど、ロッセリーニの後年の科学への関心を示す描写も顕著。

【クレジット】

監督	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini
製作	ヨーヒエン・ゲンゾー マリオ・デル・パパ	Jochen Genzow Mario Del Papa
原作	シュテファン・ツヴァイク	Stefan Zweig
脚本	セルジオ・アミディ フランツ・トリュベルク	Sergio Amidei Franz Treuberg
撮影	カルロ・カルリーニ	Carlo Carlini
音楽	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini
出演	英格リッド・バーグマン マシアス・ヴィーマン レナンテ・マンハーツ クルト・クリューガー エリゼ・オーリンガー エディス・シュレイザー・ウェストラム ステフィ・ストルクス	Ingrid Bergman Mathias Wieman Renate Mannhardt Kurt Kreuger Elise Aulinger Edith Schultze-Westrum Steffi Stroux